キートンの探偵学入門（1924）

SHERLOCK JR.

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 50分
初公開日 1924/
公開情報 劇場公開
リバイバル 1973/12［フランス映画社］

【キャッチコピー】
華麗に優雅に…すべての謎を一瞬に解く！名探偵キートンの恋愛爆笑大活劇！（リバイバル時）

【解説】
映写技師のキートンは上映中に居眠りを始め、その分身が憧れの銀幕の中に入っていく。そこでは丁度、乱闘騒ぎの最中で、殴られた彼は客席に飛び出し、再び入り込むと、場面は変わっていて…。そんな映画という時空間の異様さを身体で知っていたサイレント期のコメディアンであればこそのギャグが横溢する夢幻劇。醒めた彼には想いを募らす娘がいるがプロポーズをする勇気がなく、銀幕上のそんなシーン通りに求婚するとうまくいきかける。ところが映写室から観る映画にはその先もあって、三つ子が産まれ、それをあやす男は、奥さんが脇で編み物をする一見平和そうな生活にうんざりした表情を見せてＥＮＤ。となればキートンも不安に…というラストも現代風に神経症的で、独身主義者には嬉しいやら切ないやら。Ｗ・アレンの「カイロの紫のバラ」は逆に銀幕中の人物が飛び出して来たりもするアイデアの追加はあったが、本質的にこの映画の模倣で、ハートウォーミングな佳作だが、異次元を行き来するおかしみに関しては、まるで追いついていなかった。

【クレジット】

監督	バスター・キートン	Buster Keaton
製作	ジョセフ・Ｍ・シェンク	Joseph M. Schenck
脚本	クライド・ブラックマン	Clyde Bruckman
	ジョン・ハヴェズ	
	ジョゼフ・ミッチェル	
撮影	エルジン・レスリー	Elgin Lessley
出演	バスター・キートン	Buster Keaton
	キャサリン・マクガイア	
	ジョー・キートン	Joe Keaton
	ウォード・クレイン	Ward Crane

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.